

第2章 単純集計結果

(1) 回答者属性

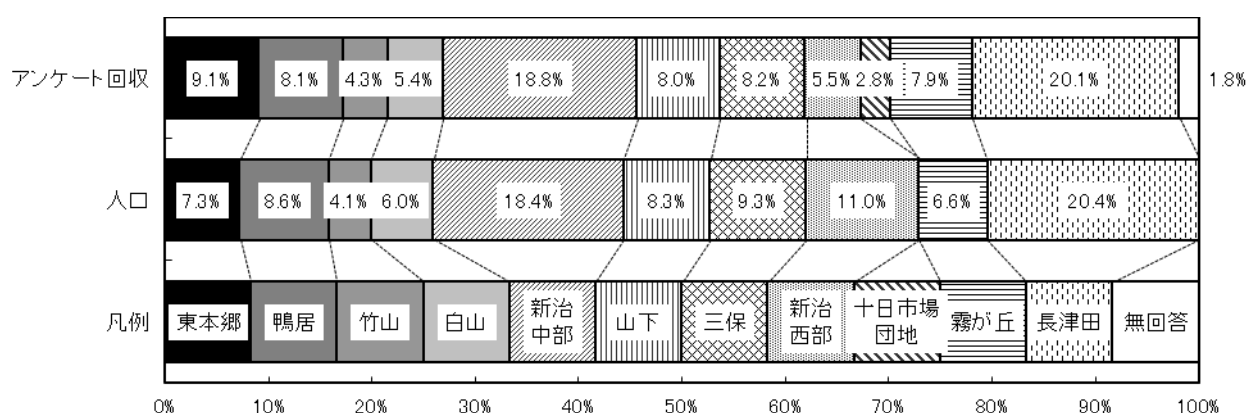
問1 居住地区

平成21年度調査までは10地区での集計を行っていたが、本調査では、「みどりのわ・ささえ愛プラン」の地区と同じく11地区（新治西部地区と十日市場団地地区を分割）で集計した。

地区別の回収数は人口比率とほぼ似た傾向にあり、緑区全域からまんべんなく回収されたと考えられる。

なお、人口は平成26年3月31日現在の住民基本台帳の値を用いた。

図表 問1 あなたのお住まいの町はどちらですか



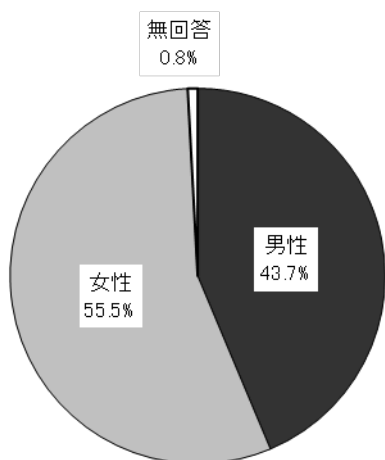
※人口のグラフでは、十日市場団地地区の人口が新治西部地区に含まれています。

回答	人口	回答数	回答者割合(%)
東本郷地区 (東本郷1～6丁目、東本郷町)	12,946	118	9.1%
鴨居地区 (鴨居1～7丁目、鴨居町)	15,323	106	8.1%
竹山地区(竹山1～4丁目)	7,327	56	4.3%
白山地区(白山1～4丁目)	10,721	70	5.4%
新治中部地区 (台村町、森の台、寺山町、中山町、上山1～3丁目、)	32,918	244	18.8%
三保地区(三保町)	14,854	104	8.0%
山下地区(西八朔町、北八朔町、小山町、青砥町)	16,584	107	8.2%
新治西部地区 (新治町、十日市場町(十日市場団地は除く)、長津田みなみ台7丁目の一部)	19,558	72	5.5%
十日市場団地地区(十日市場町の一部)		36	2.8%
霧が丘地区(霧が丘1～6丁目)	11,760	103	7.9%
長津田地区 (長津田1～7丁目、長津田町、いぶき野、長津田みなみ台1～6丁目、7丁目の一部)	36,441	261	20.1%
無回答(不明含む)	—	24	1.8%
(n)	178,432	1301	100.0%

問2 性別

回答者の性別は、女性 55.5%、男性 43.7%で、女性がやや多い。

図表 問2 あなたの性別はどちらですか



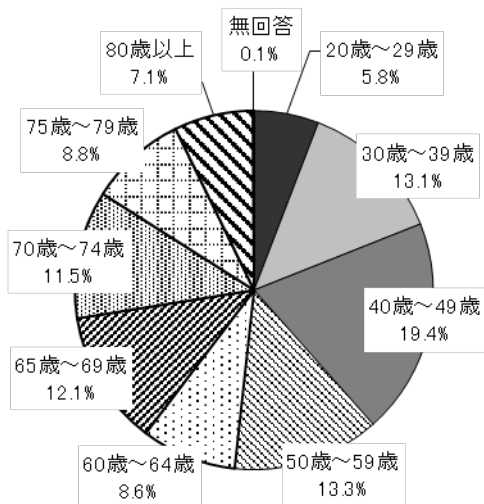
回答	回答数	%
男性	568	43.7%
女性	722	55.5%
無回答	11	0.8%
(n)	1301	100.0%

問3 年齢構成

60歳代（60歳～64歳，65歳～69歳）が20.7%で最も多く、70歳代（70歳～74歳，75歳～79歳）が20.3%、40歳代（40歳～49歳）が19.4%でこれに次いでいる。

65歳以上の高齢者の比率は39.5%であった。

図表 問3 あなたの年齢は次のうちのどの区分に属しますか（平成26年9月1日現在）

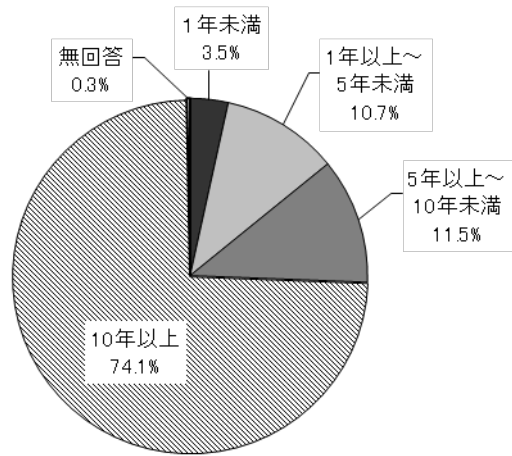


回答	回答数	%
20歳～29歳	76	5.8%
30歳～39歳	171	13.1%
40歳～49歳	253	19.4%
50歳～59歳	173	13.3%
60歳～64歳	112	8.6%
65歳～69歳	158	12.1%
70歳～74歳	150	11.5%
75歳～79歳	114	8.8%
80歳以上	93	7.1%
無回答	1	0.1%
(n)	1301	100.0%

問4 居住年数

回答者の緑区での居住年数は、「10年以上」が74.1%を占めている。次いで「5年以上～10年未満」が11.5%となっている。

図表 問4 あなたは緑区に何年間住んでいますか (平成26年9月1日現在)

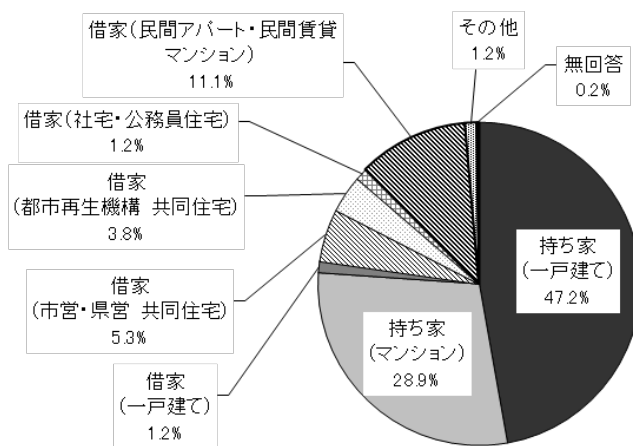


回答	回答数	%
1年未満	45	3.5%
1年以上～5年未満	139	10.7%
5年以上～10年未満	149	11.5%
10年以上	964	74.1%
無回答	4	0.3%
(n)	1301	100.0%

問5 住まいの種別

「持ち家（一戸建て）」が5割近く（47.2%）で最も多く、「持ち家（マンション・共同住宅）」（28.9%）がそれに次いでいる。これらを合わせると76.1%が持ち家に居住している。借家の中では、「借家（民間アパート・民間賃貸マンション）」が約1割（11.1%）で最も多い。

図表 問5 あなたの現在暮らしているお住まいはどれにあたりますか

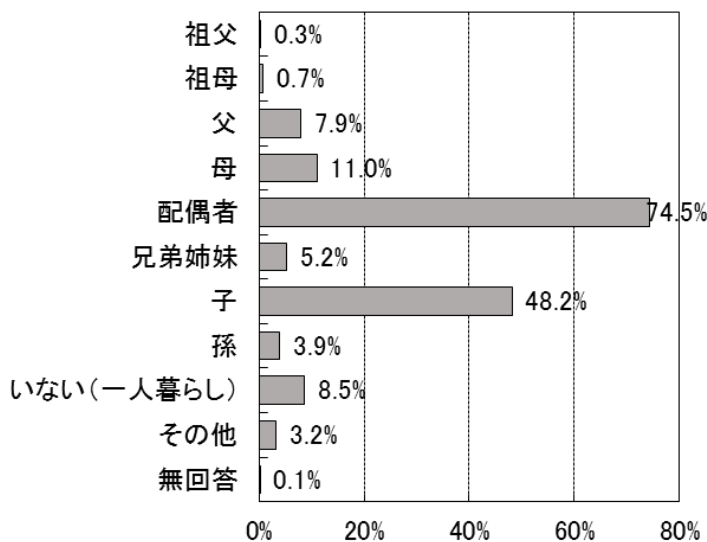


回答	回答数	%
持ち家（一戸建て）	614	47.2%
持ち家（マンション・共同住宅）	376	28.9%
借家（一戸建て）	15	1.2%
借家（県営・市営の共同住宅）	69	5.3%
借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）	49	3.8%
借家（社宅・公務員住宅）	16	1.2%
借家（民間アパート・民間賃貸マンション）	144	11.1%
その他	15	1.2%
無回答	3	0.2%
(n)	1301	100.0%

問6 同居者の関係(複数回答)

一緒に暮らしている家族は、「配偶者」が74.5%で最も多く、「子」(48.2%)がそれに次いでいる。「いない(一人暮らし)」は8.5%であった。

図表 問6 あなたと一緒に暮らしている方を教えてください (複数回答:あてはまるものすべて)



回答	回答数	%
祖父	4	0.3%
祖母	9	0.7%
父	103	7.9%
母	143	11.0%
配偶者	969	74.5%
兄弟姉妹	68	5.2%
子	627	48.2%
孫	51	3.9%
いない(一人暮らし)	111	8.5%
その他	42	3.2%
無回答	1	0.1%
(n)	1301	100.0%

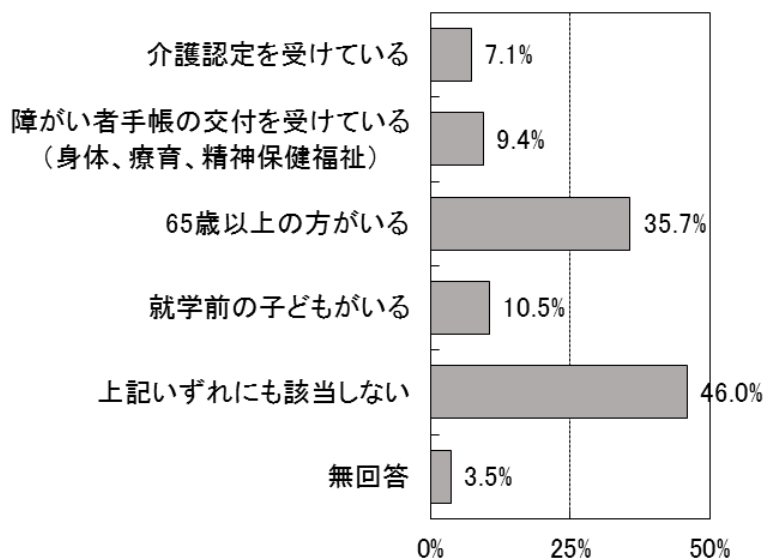
問7 回答者及び同居者の状況(複数回答)

回答者及び同居の家族の状況は、「65歳以上の方がいる」が35.7%であった。一方、「就学前の子どもがいる」は、10.5%であった。

高齢者や障がい者、就学前の子どもなど「上記いずれにも該当しない」が46.0%であった。

図表 問7 あなたや同居のご家族の状況で次の項目に該当するものはありますか

(複数回答:あてはまるものすべて)

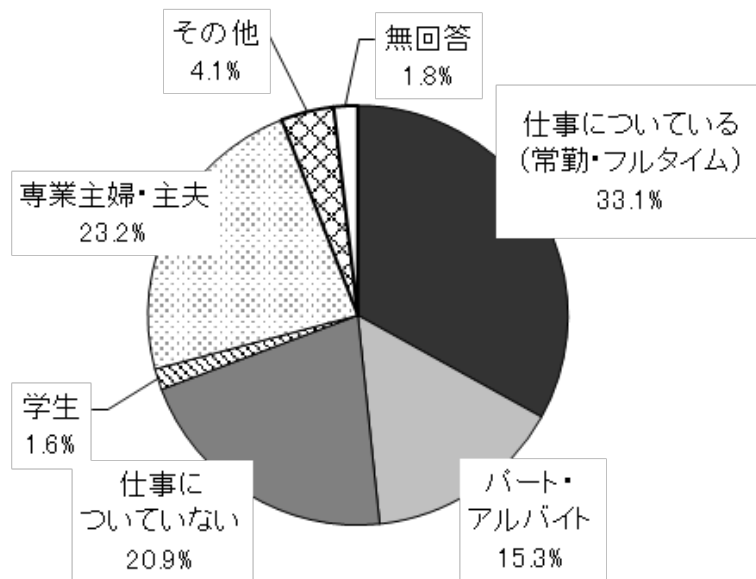


回答	回答数	%
介護認定を受けている	93	7.1%
障がい者手帳の交付を受けている(身体、療育、精神保健福祉)	122	9.4%
65歳以上の方がいる	465	35.7%
就学前の子どもがいる	137	10.5%
上記いずれにも該当しない	599	46.0%
無回答	46	3.5%
(n)	1301	100.0%

問8 仕事の状況

回答者の仕事の状況は、「仕事についている（常勤・フルタイム）」が33.1%で、パート・アルバイト（15.3%）と合わせると、約半数（48.4%）が「仕事についている」と回答している。一方、「専業主婦・主夫」が23.2%、「仕事についていない」が20.9%であった。

図表 問8 あなたのお仕事の状況は次のどれに該当しますか（主としてつかれているもの）



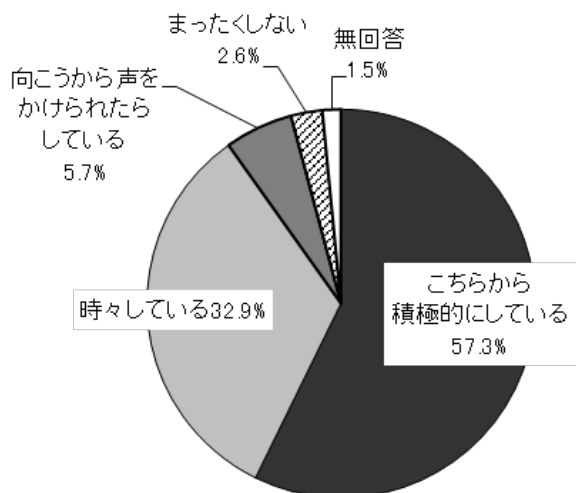
回答	回答数	%
仕事についている (常勤・フルタイム)	430	33.1%
仕事についている (パート・アルバイト)	199	15.3%
仕事についていない	272	20.9%
学生	21	1.6%
専業主婦・主夫	302	23.2%
その他	53	4.1%
無回答	24	1.8%
(n)	1301	100.0%

(2) 地域との関わり

問9 近隣の人へのあいさつ・声かけ

近隣の人へのあいさつや声かけは、「こちらから積極的にしている」が6割近く(57.3%)で最も多い。次いで、「時々している」が32.9%であった。

図表 問9 あなたは近隣の人にあいさつや声かけをしていますか

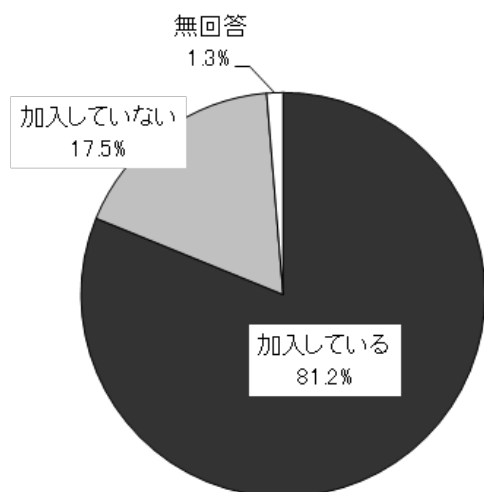


回答	回答数	%
こちらから積極的にしている	745	57.3%
時々している	428	32.9%
向こうから声をかけられたらしている	74	5.7%
まったくしない	34	2.6%
無回答	20	1.5%
(n)	1301	100.0%

問10 自治会加入状況

自治会への加入状況は、81.2%が「加入している」と回答している。

図表 問10 あなたはご自身がお住まいの地域の自治会に加入していますか



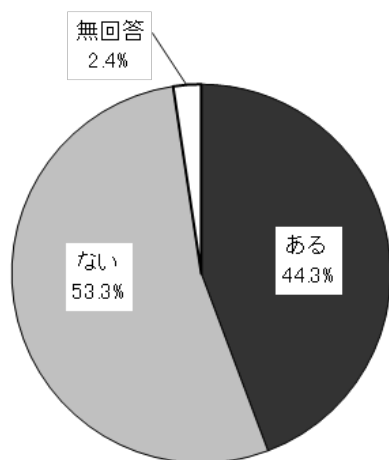
回答	回答数	%
加入している	1056	81.2%
加入していない	228	17.5%
無回答	17	1.3%
(n)	1301	100.0%

問 11 地域での助け合いの参加経験

地域のイベントや活動の手伝いなど、地域での助け合いへの参加経験は、「ない」が53.3%で、「ある」(44.3%)を上回っている。

具体的な内容については557票の記入があり、自治会活動に関連するもの(役員・当番、運動会や祭りの手伝い、防災訓練、地域の清掃、老人会・子供会、防犯パトロール等)が大多数であった。その他の回答としては、マンション管理組合の活動、家庭防災員、消費生活推進員、地区社会福祉協議会の活動、ボランティア活動などが挙げられている。

図表 問11 あなたは今までに、地域のイベントや活動の手伝いなど地域での助け合いに参加したことがありますか

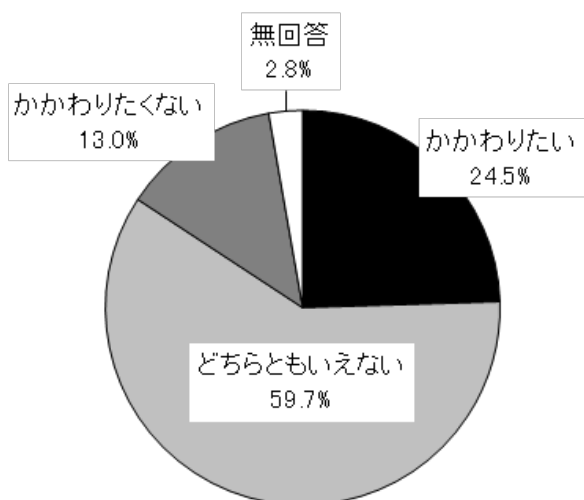


回答	回答数	%
ある	576	44.3%
ない	694	53.3%
無回答	31	2.4%
(n)	1301	100.0%

問 12 地域の活動への参加意向

今後地域の活動などに関わることへの意向は、「どちらともいえない」が6割(59.7%)で最も多く、「かかわりたい」は24.5%であった。

図表 問12 あなたは今後、地域のイベントや活動の手伝いなどにかかわりたいですか



回答	回答数	%
かかわりたい	319	24.5%
どちらともいえない	777	59.7%
かかわりたくない	169	13.0%
無回答	36	2.8%
(n)	1301	100.0%

(3) 地域でのボランティア活動について

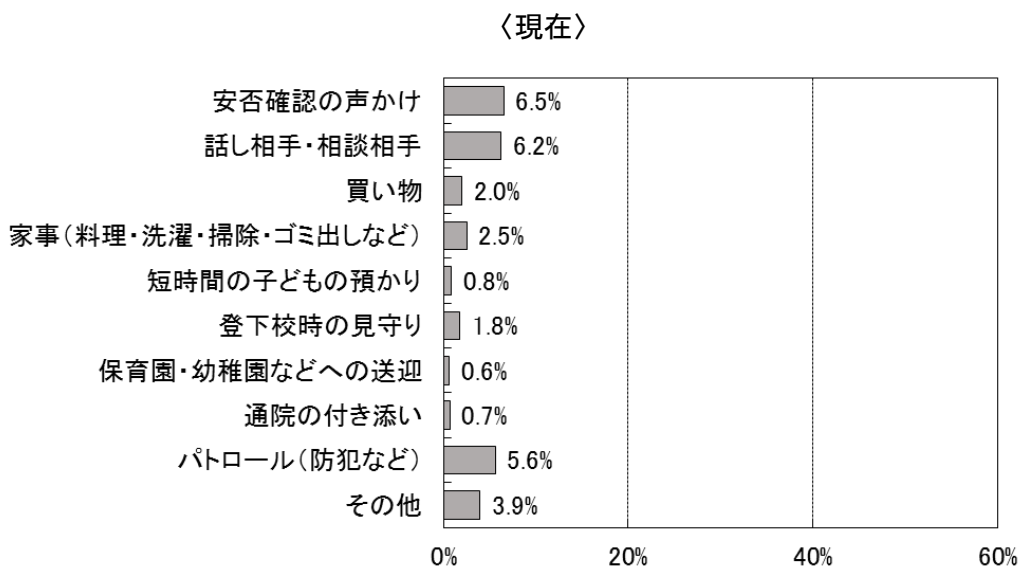
問 13 隣近所の困っている方の手助けでできること

隣近所で困っている方への手助けや見守りについて、(1) 現在やっていることと、(2) 将来(頼まれたら)できそうなことについてたずねた。

現在やっているものは全般的に少なく、最も多い「安否確認の声かけ」も 6.5%にとどまっている。

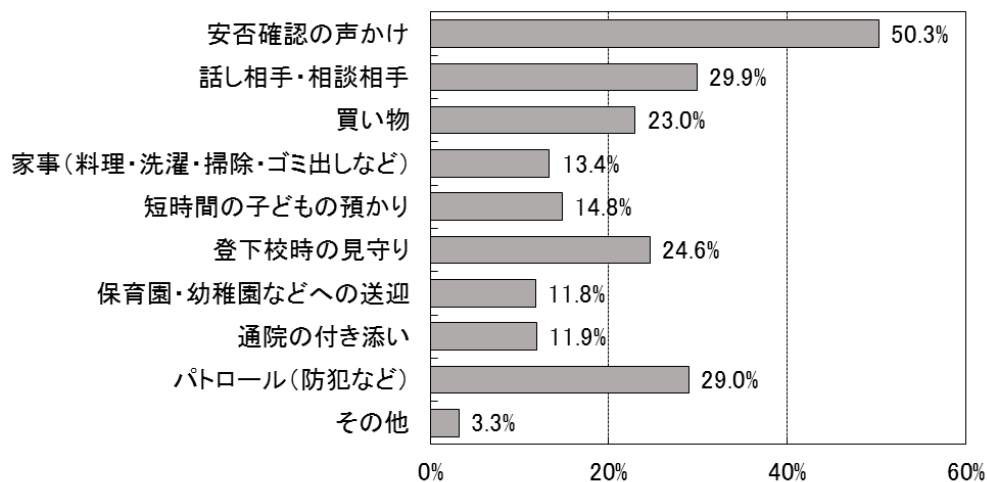
一方、将来できそうなこととしては、「安否確認の声かけ」を半数(50.3%)が回答したほか、「話し相手・相談相手」(29.9%)や「パトロール(防犯など)」(29.0%)などができそうなこととして挙がっている。

図表 問 13 隣近所で困っている方の手助けや見守りを、あなたは現在やっていますか。また、将来できそうですか。(複数回答：あてはまるものすべて)



回答	回答数	%
安否確認の声かけ	85	6.5%
話し相手・相談相手	81	6.2%
買い物	26	2.0%
家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	33	2.5%
短時間の子どもの預かり	11	0.8%
登下校時の見守り	23	1.8%
保育園・幼稚園などへの送迎	8	0.6%
通院の付き添い	9	0.7%
パトロール(防犯など)	73	5.6%
その他	51	3.9%
(n)	1301	100.0%

〈将来〉

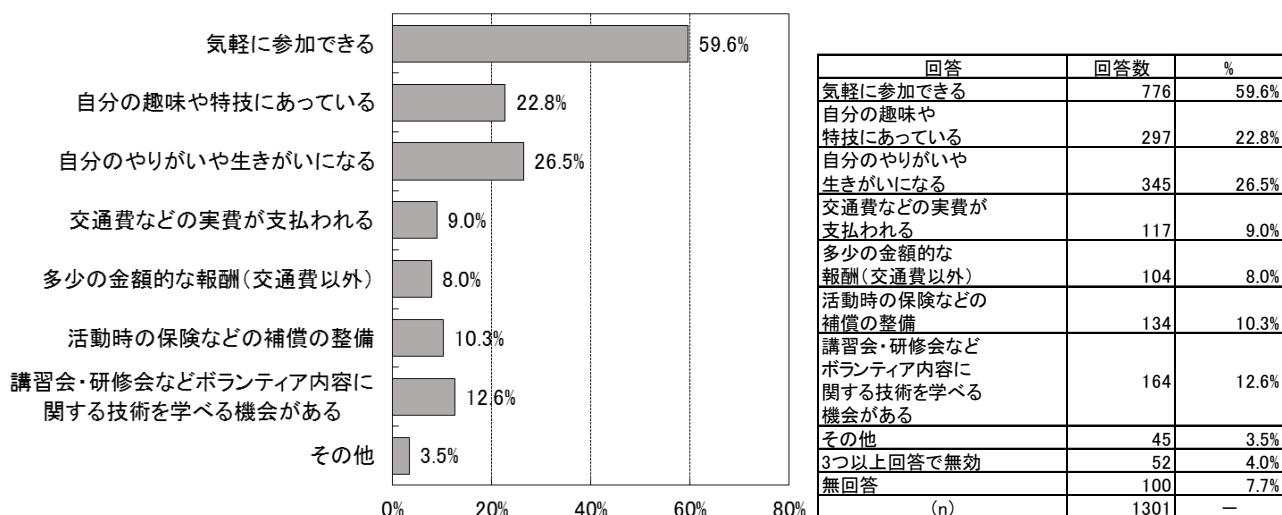


回答	回答数	%
安否確認の声かけ	654	50.3%
話し相手・相談相手	389	29.9%
買い物	299	23.0%
家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	174	13.4%
短時間の子どもの預かり	193	14.8%
登下校時の見守り	320	24.6%
保育園・幼稚園などへの送迎	154	11.8%
通院の付き添い	155	11.9%
パトロール(防犯など)	377	29.0%
その他	43	3.3%
(n)	1301	100.0%

問 14 ボランティア活動に参加するための必要条件

「気軽に参加できる」が 59.6%で最も多く、これに次いで、「自分のやりがいや生きがいになる」(26.5%) や「自分の趣味や特技に合っている」(22.8%) など自分自身の楽しみにつながる回答の割合が高くなっている。

図表 問 14 あなたが地域のボランティア活動に参加するとしたら、特に重要だと思う条件はどれですか (複数回答：2つまで)



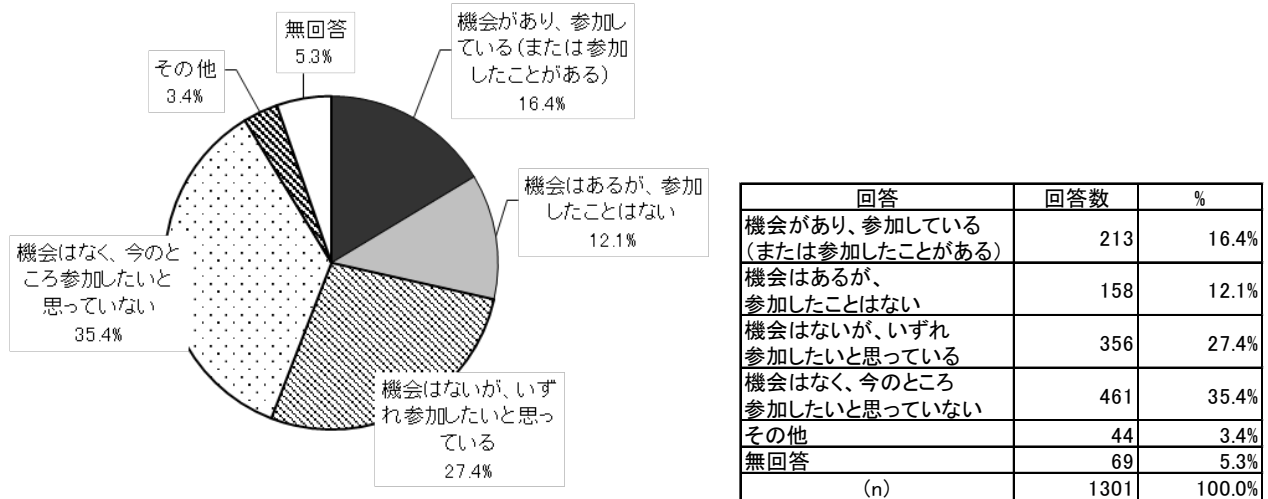
(4) 地域活動のための機会・場について

問 15 ボランティア活動の参加機会

ボランティア活動などに参加する機会があるかをたずねた。「機会はなく、今のところ参加したいと思っていない」が35.4%で最も多い。次いで「機会はないが、いずれ参加したいと思っている」(27.4%)が多くなっており、全体の6割以上が、ボランティア活動などの機会がないと回答している。

「機会があり参加している(参加したことがある)」は16.4%にとどまっている。

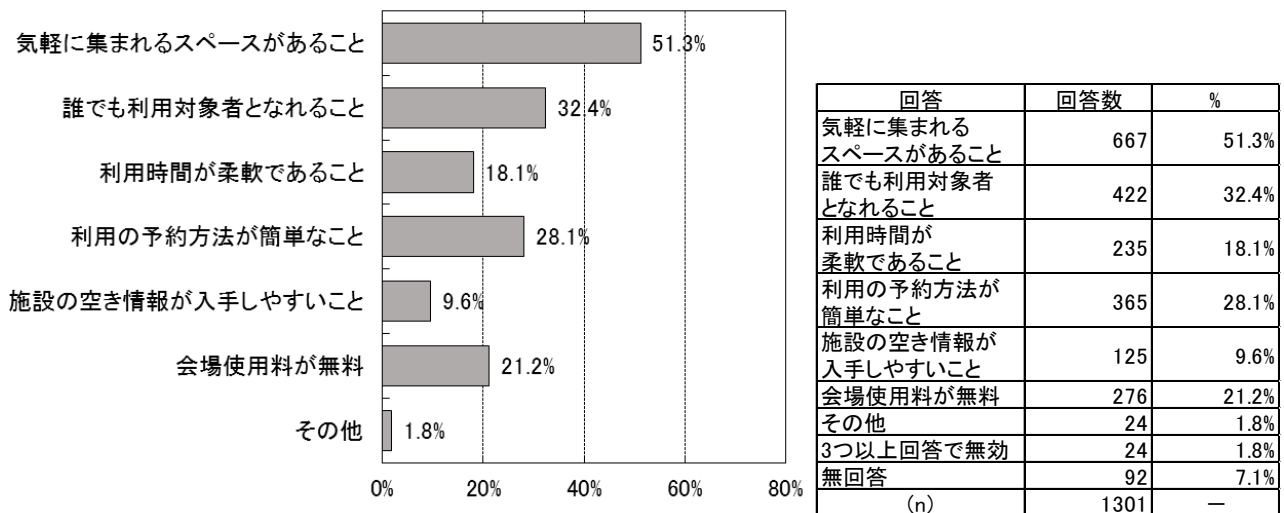
図表 問 15 あなたはボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会がありますか。



問 16 地域の活動の施設・スペースとして重要な条件

地域の活動の場として重要だと思う条件をたずねた。「気軽に集まれるスペースであること」(51.3%)や「誰でも利用対象者となれること」(32.4%)などの回答の割合が高く、区民に開かれた施設がのぞまれている。

図表 問 16 地域の活動の施設・スペースとして、特に重要だと思う条件はどれですか
(複数回答：2つまで)



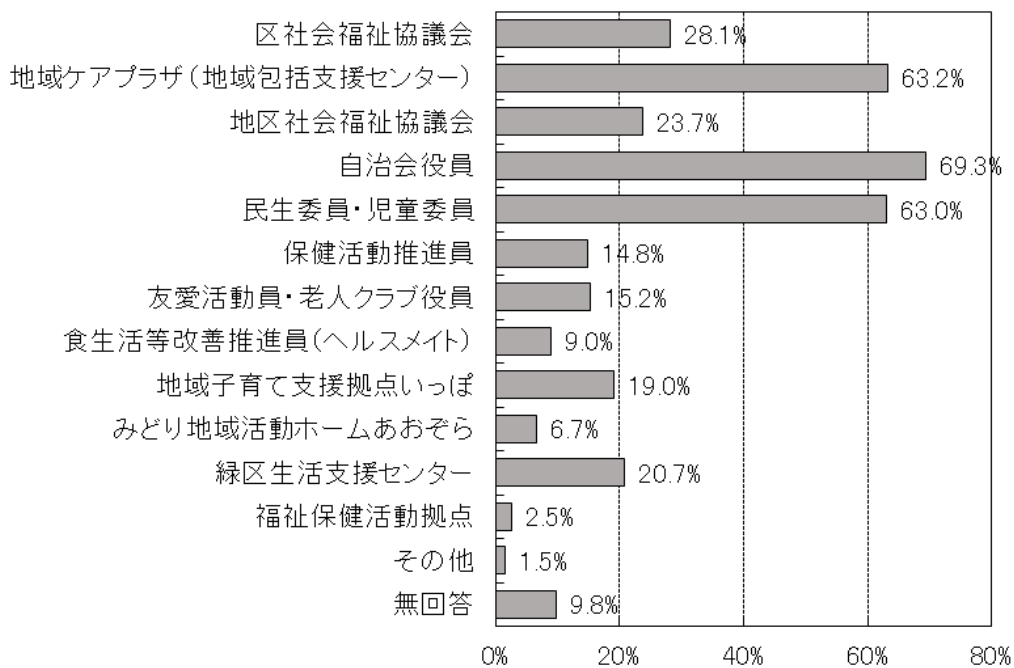
(5) 福祉保健に関する情報

問 17 地域の福祉保健に関する施設・団体・委員として知っているもの

地域の福祉保健に関する施設・団体・委員で知っているものとして、「自治会役員」(69.3%)、「地域ケアプラザ(地域包括支援センター)」(63.2%)、「民生委員・児童委員」(63.0%)の回答がいずれも6割を超え、とくに認知度が高い。

「地区社会福祉協議会」「保健活動推進員」「友愛活動員・老人クラブ役員」「食生活等改善推進員」などは、「自治会役員」等と同様に身近な地域の活動であるが、「自治会役員」等と比べると、認知度が低くなっている。

図表 問 17 地域の福祉保健に関する施設・団体・委員としてあなたが知っているものは次の中でどれですか (複数回答:あてはまるものすべて)



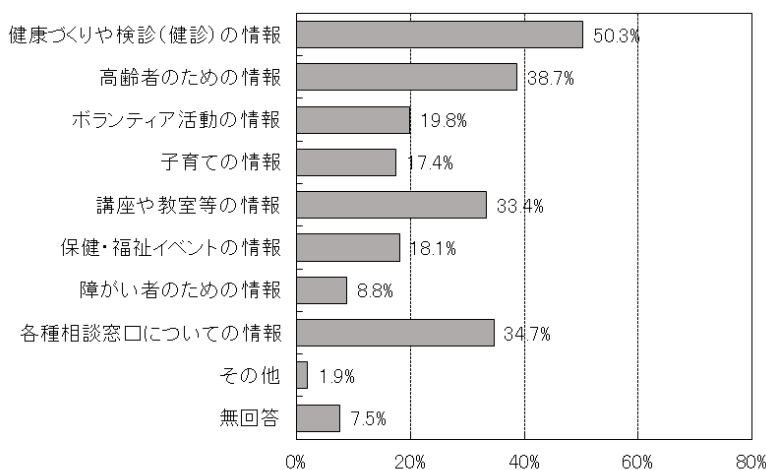
回答	回答数	%
区社会福祉協議会	366	28.1%
地域ケアプラザ (地域包括支援センター)	822	63.2%
地区社会福祉協議会	308	23.7%
自治会役員	902	69.3%
民生委員・児童委員	819	63.0%
保健活動推進員	192	14.8%
友愛活動員・ 老人クラブ役員	198	15.2%
食生活等改善推進員 (ヘルスマイト)	117	9.0%
地域子育て 支援拠点いっぽ	247	19.0%
みどり地域活動 ホームあおぞら	87	6.7%
緑区生活支援センター	269	20.7%
福祉保健活動拠点	33	2.5%
その他	19	1.5%
無回答	127	9.8%
(n)	1301	100.0%

問 18 知りたいと思う地域の福祉保健情報

知りたいと思う地域の福祉保健情報をたずねた。「健康づくりや検診（健診）の情報」（50.3%）が 5 割を超えて最も多く、次いで「高齢者のための情報」（38.7%）、「各種相談窓口についての情報」（34.7%）、「講座や教室等の情報」（33.4%）が多くなっている。

図表 問 18 あなたが、知りたいと思う地域の福祉保健に関する情報は次のうちどれですか。

（複数回答：あてはまるものすべて）



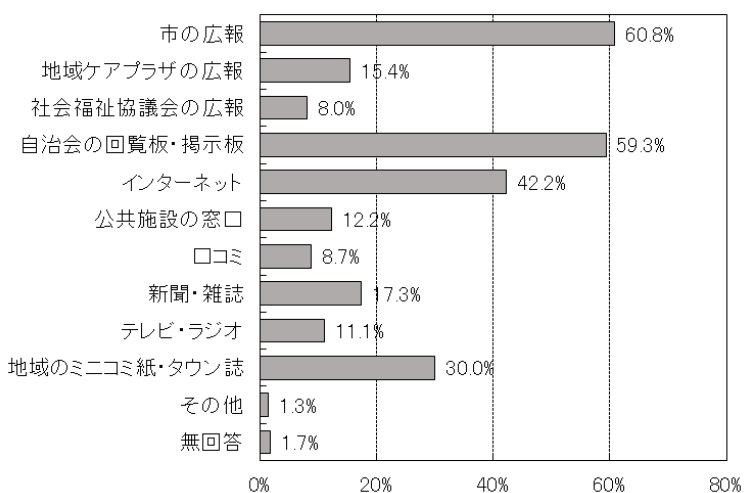
回答	回答数	%
健康づくりや検診(健診)の情報	654	50.3%
高齢者のための情報	503	38.7%
ボランティア活動の情報	258	19.8%
子育ての情報	227	17.4%
講座や教室等の情報	434	33.4%
保健・福祉イベントの情報	235	18.1%
障がい者のための情報	114	8.8%
各種相談窓口についての情報	451	34.7%
その他	25	1.9%
無回答	98	7.5%
(n)	1301	100.0%

問 19 地域の福祉保健に関する情報の取得手段

福祉保健に関する情報の取得手段は、従来からある「市の広報」（60.8%）や「自治会の回覧板・掲示板」（59.3%）が多くなっているが、これらに次いで「インターネット」も情報を入手しやすい方法として 4 割以上（42.2%）が回答している。また、「地域のミニコミ紙・タウン誌」（30.0%）も利用されている。

図表 問 19 あなたが地域の福祉保健に関する情報を知りたいと思ったとき、

入手しやすい方法はどれですか （複数回答：あてはまるものすべて）

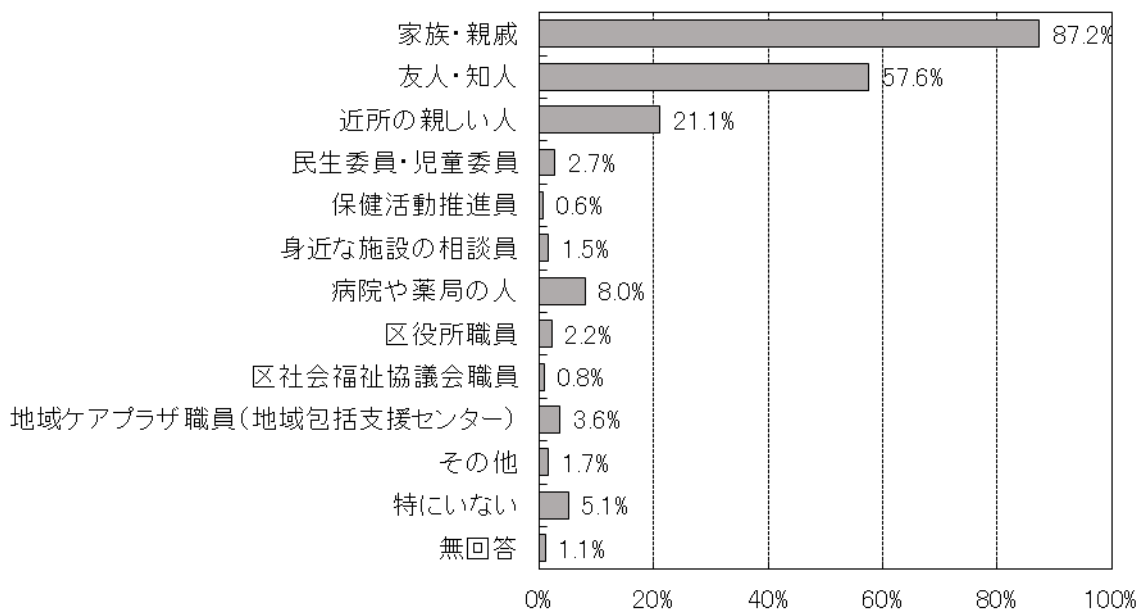


回答	回答数	%
市の広報	791	60.8%
地域ケアプラザの広報	201	15.4%
社会福祉協議会の広報	104	8.0%
自治会の回覧板・掲示板	772	59.3%
インターネット	549	42.2%
公共施設の窓口	159	12.2%
口コミ	113	8.7%
新聞・雑誌	225	17.3%
テレビ・ラジオ	144	11.1%
地域のミニコミ紙・タウン誌	390	30.0%
その他	17	1.3%
無回答	22	1.7%
(n)	1301	100.0%

問 20 身近な相談相手

身近な相談相手は、「家族・親族」を 9 割近く（87.2%）の人が回答し、次いで「友人・知人」（57.6%）が多くなっている。また、2 割の人が「近所の親しい人」（21.1%）を挙げている。

図表 問 20 あなたの身近な相談相手は誰ですか（複数回答：あてはまるものすべて）



回答	回答数	%
家族・親戚	1135	87.2%
友人・知人	750	57.6%
近所の親しい人	274	21.1%
民生委員・児童委員	35	2.7%
保健活動推進員	8	0.6%
身近な施設の相談員	20	1.5%
病院や薬局の人	104	8.0%
区役所職員	28	2.2%
区社会福祉協議会職員	11	0.8%
地域ケアプラザ職員 (地域包括支援センター)	47	3.6%
その他	22	1.7%
特にない	66	5.1%
無回答	14	1.1%
(n)	1301	100.0%

(6) 安全・安心

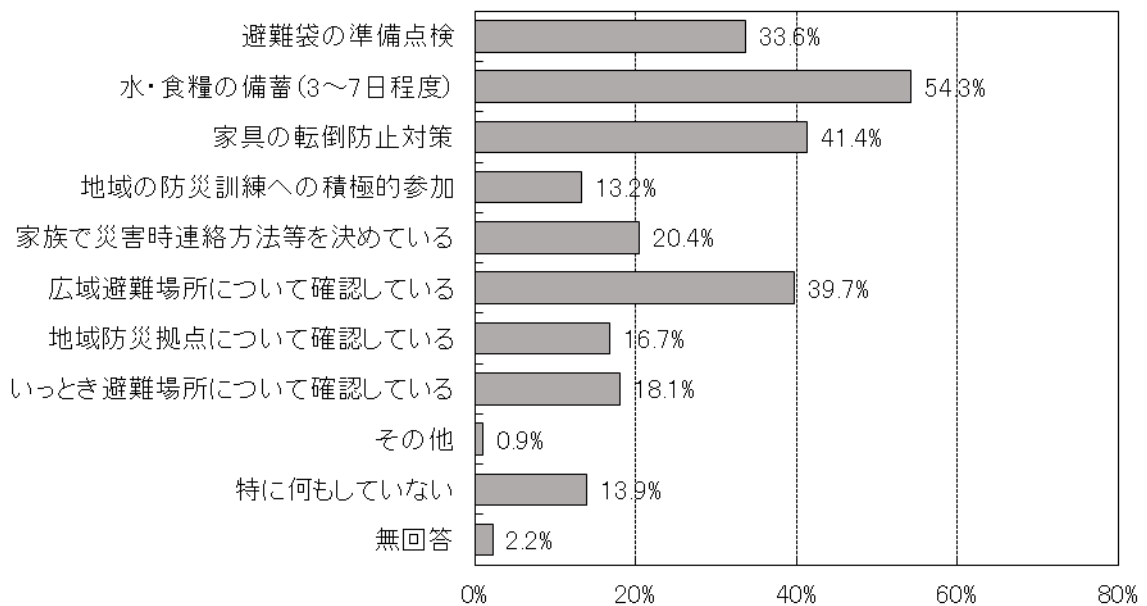
問 21 日頃、防災・減災に関して取り組んでいること

防災・減災に関して取り組んでいることは、「水・食糧の備蓄」が最も多く 54.3%が回答している。次いで、「家具の転倒防止」(41.4%)、「広域避難場所について確認している」(39.7%) となっている。

避難場所については、4割近くが回答している「広域避難場所」に対し、「地域防災拠点」(16.7%) や「いっとき避難場所」(18.1%) など身近な避難場所の認知度が低くなっている。

図表 問 21 あなたが日頃、防災・減災に関して取り組んでいることは何ですか

(複数回答：あてはまるものすべて)

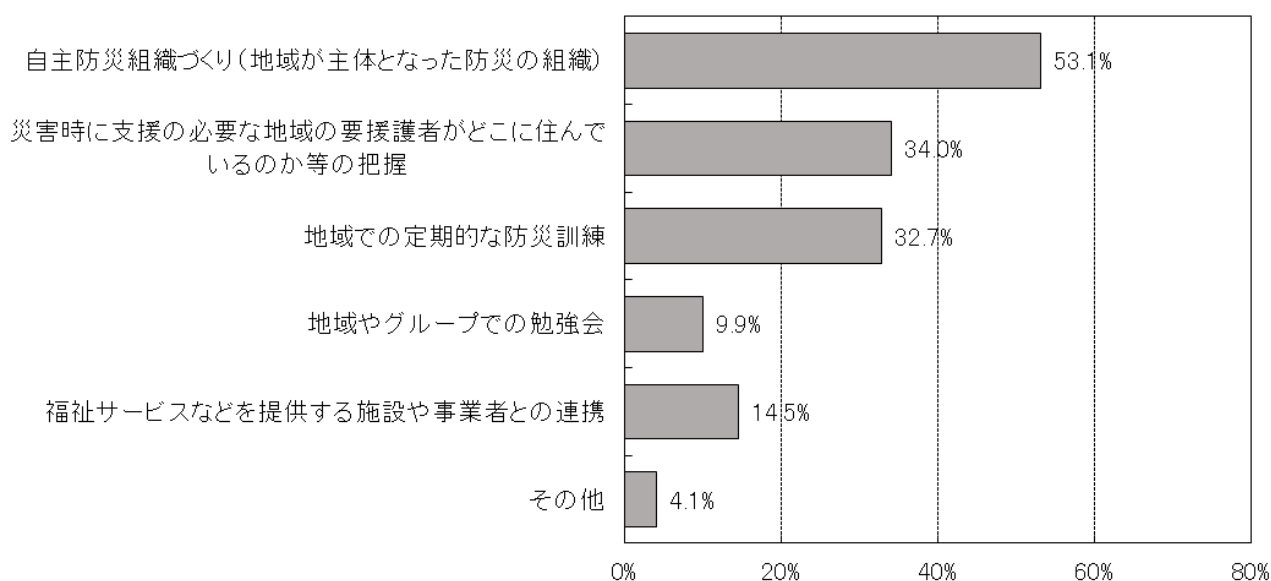


回答	回答数	%
避難袋の準備点検	437	33.6%
水・食糧の備蓄 (3~7日程度)	706	54.3%
家具の転倒防止対策	538	41.4%
地域の防災訓練への 積極的参加	172	13.2%
家族で災害時 連絡方法等を決めている	266	20.4%
広域避難場所について 確認している	516	39.7%
地域防災拠点について 確認している	217	16.7%
いっとき避難場所について 確認している	235	18.1%
その他	12	0.9%
特に何もしていない	181	13.9%
無回答	28	2.2%
(n)	1301	100.0%

問 22 「災害時に住民が支えあう地域づくり」に必要な取組

防災に関して、地域で必要な取組については、「自主防災組織づくり」が 53.1%で最も多く、「災害時に支援の必要な地域の要援護者がどこに住んでいるのか等の把握」(34.0%)と「地域での定期的な防災訓練」(32.7%)がそれに次いでいる。

図表 問 2 2 あなたは「災害時に住民が支えあう地域づくり」には日頃から地域でどのような取組が必要だと思われますか。その中でも特に重要だと思うものに○をつけてください
(複数回答：2つまで)

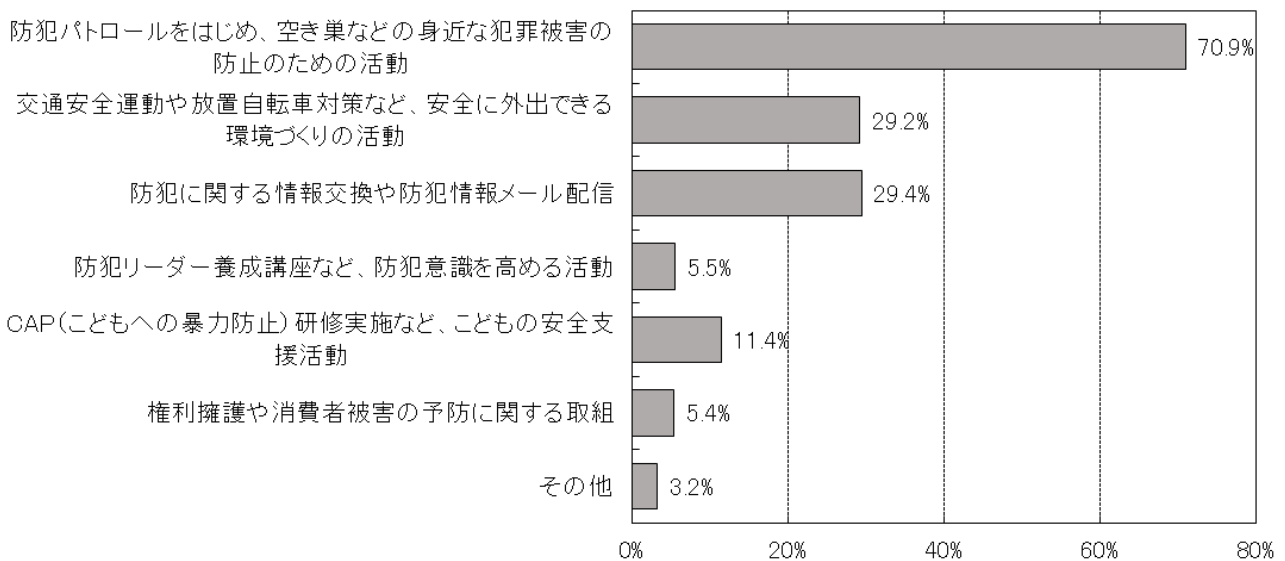


回答	回答数	%
自主防災組織づくり (地域が主体となった防災の組織)	691	53.1%
災害時に支援の必要な地域の要援護者が どこに住んでいるのか等の把握	442	34.0%
地域での定期的な防災訓練	426	32.7%
地域やグループでの勉強会	129	9.9%
福祉サービスなどを提供する施設や 事業者との連携	188	14.5%
その他	53	4.1%
3つ以上回答で無効	30	2.3%
無回答	71	5.5%
(n)	1301	100.0%

問 23 「地域における防犯活動」に必要な取組

防犯に関して必要な取組としては、防犯パトロールなど「犯罪被害の防止のための活動」(70.9%)が最も多くなっている。次いで、「防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信」(29.4%)と「交通安全運動や放置自転車対策など安全に外出できる環境づくりの活動」(29.2%)が多くなっている。

図表 問 23 あなたは「地域における防犯活動」として、日頃からどのような取組が必要だと思いますか。その中でも特に重要だと思うものに○をつけてください（複数回答：2つまで）



回答	回答数	%
防犯パトロールをはじめ、空き巣などの身近な犯罪被害の防止のための活動	922	70.9%
交通安全運動や放置自転車対策など、安全に外出できる環境づくりの活動	380	29.2%
防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信	383	29.4%
防犯リーダー養成講座など、防犯意識を高める活動	71	5.5%
CAP(子どもへの暴力防止)研修実施など、子どもの安全支援活動	148	11.4%
権利擁護や消費者被害の予防に関する取組	70	5.4%
その他	42	3.2%
3つ以上回答で無効	27	2.1%
無回答	82	6.3%
(n)	1301	100.0%

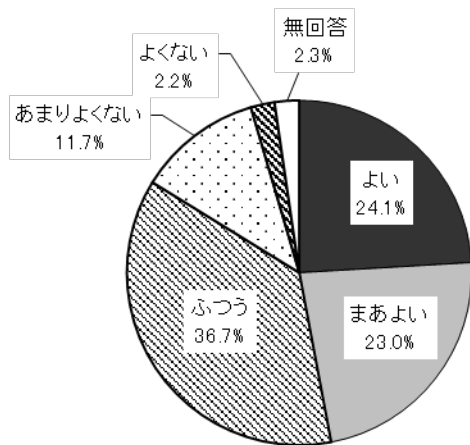
(7) 健康

問 24 自身の健康状態

回答者自身の健康状態について、「ふつう」が 36.7%で最も多い。

また、「よい」(24.1%)と「まあよい」(23.0%)を合わせると半数近くになり、健康であるという回答が多くなっている。

図表 問 24 あなたの現在の健康状態は、ご自分で次のどれにあてはまるとお考えですか



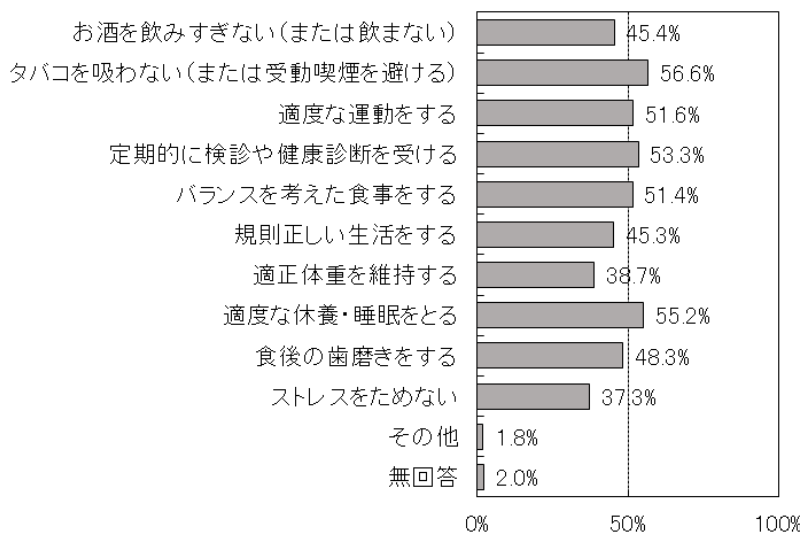
回答	回答数	%
よい	313	24.1%
まあよい	299	23.0%
ふつう	478	36.7%
あまりよくない	152	11.7%
よくない	29	2.2%
無回答	30	2.3%
(n)	1301	100.0%

問 25 日頃から健康のために心がけていること

回答者が日頃から健康のために心がけていることは、「タバコを吸わない(受動喫煙を避ける)」(56.6%)をはじめ、「適度な休養・睡眠をとる」「定期的に検診や健康診断を受ける」「適度な運動をする」「バランスを考えた食事をする」などの項目で5割以上の回答があり、健康のため多くのことを心がけていることが分かる。

図表 問 25 あなたが日頃から健康のために心がけていることはありますか。

(複数回答：あてはまるものすべて)

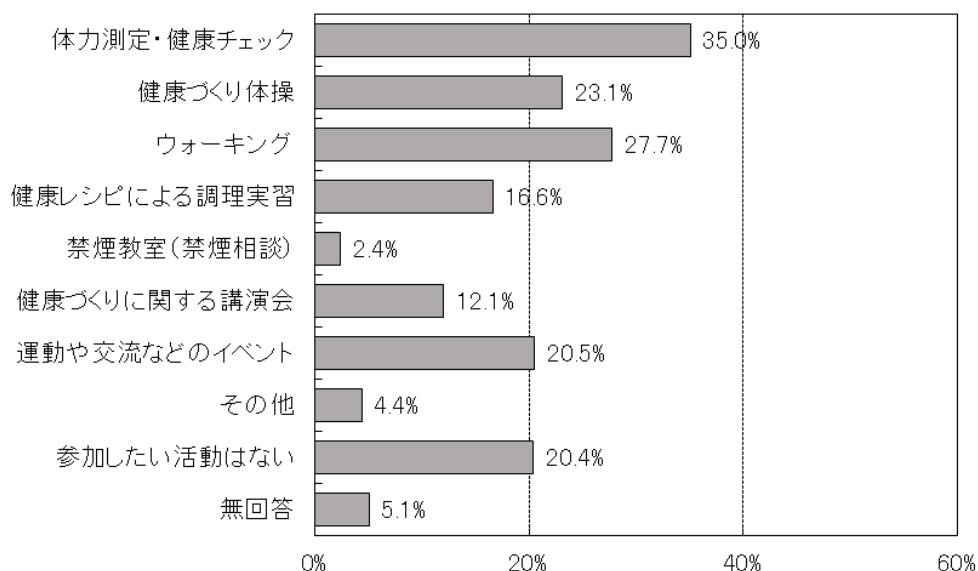


回答	回答数	%
お酒を飲みすぎない(または飲まない)	591	45.4%
タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)	736	56.6%
適度な運動をする	671	51.6%
定期的に検診や健康診断を受ける	694	53.3%
バランスを考えた食事をする	669	51.4%
規則正しい生活をする	589	45.3%
適正体重を維持する	504	38.7%
適度な休養・睡眠をとる	718	55.2%
食後の歯磨きをする	629	48.3%
ストレスをためない	485	37.3%
その他	24	1.8%
無回答	26	2.0%
(n)	1301	100.0%

問 26 自身の健康のために参加したいと思う活動

回答者が自身の健康のために参加したいと思う活動は、「体力測定・健康チェック」(35.0%)が最も多く、それに続いて「ウォーキング」(27.7%)や「健康づくり体操」(23.1%)など体を動かす活動についての回答が多くなっている。

図表 問26 あなたがご自身の健康のために、身近にどのような活動があれば参加したいと思いますか（複数回答）



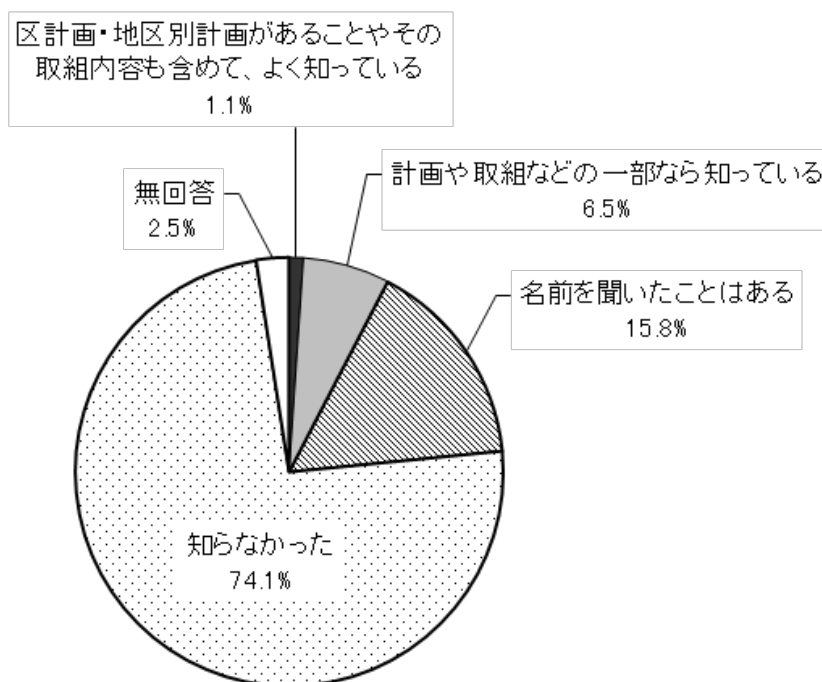
回答	回答数	%
体力測定・健康チェック	456	35.0%
健康づくり体操	301	23.1%
ウォーキング	361	27.7%
健康レシピによる調理実習	216	16.6%
禁煙教室(禁煙相談)	31	2.4%
健康づくりに関する講演会	157	12.1%
運動や交流などのイベント	267	20.5%
その他	57	4.4%
参加したい活動はない	265	20.4%
無回答	66	5.1%
(n)	1301	100.0%

(8) 身近な地域での福祉保健の取組について

問 27 『みどりのわ・ささえ愛プラン』の認知度

地域福祉保健計画の認知度をたずねた。『みどりのわ・ささえ愛プラン』を「知らなかった」が7割以上(74.1%)を占め、認知度は高いとはいえない。「名前を聞いたことはある」も15.8%にとどまっている。

問 2 7 あなたは地域福祉保健計画『みどりのわ・ささえ愛プラン』を知っていましたか。
次のうちあてはまるものを選んでください。(○は1つ)

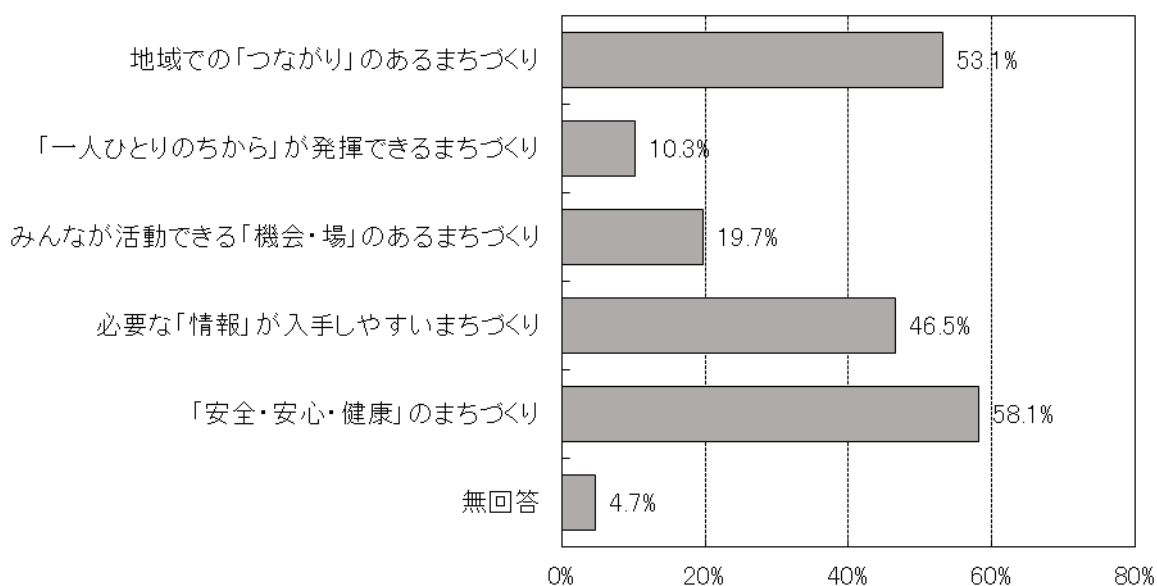


回答	回答数	%
区計画・地区別計画があることやその取組内容も含めて、よく知っている	14	1.1%
計画や取組などの一部なら知っている	85	6.5%
名前を聞いたことはある	206	15.8%
知らなかった	964	74.1%
無回答	32	2.5%
(n)	1301	100.0%

問 28 地域で、特に重要な福祉保健の取組

特に重要な福祉保健の取組は、「『安全・安心・健康』のまちづくり」(58.1%)が最も多く、「地域での『つながり』のあるまちづくり」(53.1%)、「必要な『情報』が入手しやすいまちづくり」(46.5%)がそれに続いている。一方、「『一人ひとりのちから』が発揮できるまちづくり」(10.3%)や「みんなが活動できる『機会・場』のあるまちづくり」(19.7%)など、区民自身の活動に関する取組の回答は少なかった。

図表 問 28 あなたが自分の住む地域で、今、特に重要な福祉保健の取組はどのようなことだと思いますか。次のうち、あてはまると思うものを2つ選び、回答欄にその番号を記入してください。(複数回答：2つまで)



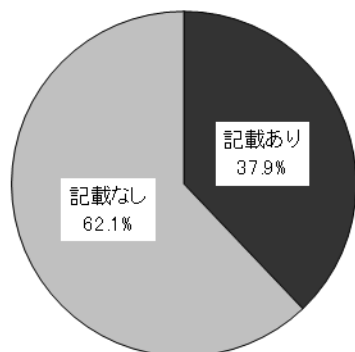
回答	回答数	%
地域での「つながり」のあるまちづくり	691	53.1%
「一人ひとりのちから」が発揮できるまちづくり	134	10.3%
みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり	256	19.7%
必要な「情報」が入手しやすいまちづくり	605	46.5%
「安全・安心・健康」のまちづくり	756	58.1%
無回答	61	4.7%
(n)	1301	100.0%

(9) 緑区の福祉保健全般について

問 29 緑区の福祉保健のために、10年後も大切だと思うこと

自由記入では、全体の37.9%から記載があった。(内容は第6章参照)

図表 問 29 緑区の福祉保健のために、10年後も大切だと思うこと
(自由記入の記載)

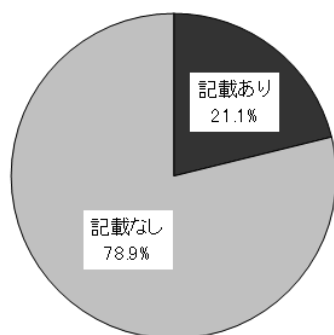


回答	回答数	%
記載あり	493	37.9%
記載なし	808	62.1%
(n)	1301	100.0%

問 30 『みどりのわ・ささえ愛プラン』や緑区の福祉保健に対する意見

自由記入では、全体の21.1%から記載があった。(内容は第6章参照)

図表 問 30 緑区の福祉保健に対する意見
(自由記入の記載)



回答	回答数	%
記載あり	275	21.1%
記載なし	1026	78.9%
(n)	1301	100.0%